

令和5年度第3回 高浜市地域公共交通会議 会議録

I 日時及び場所 令和5年12月15日（金）午後3時00分～ 高浜市役所会議棟1・2・3

II 出席者 委員（13名）※欠席3名 事務局（4名）

III 議事

1. あいさつ

◆市民部長

- ・現在の運行について多くの疑問が呈される中で、本市におけるコミュニティ交通を維持していくために必要なことをしっかり考えていきたい。

◆山崎会長

- ・前回の会議で高浜市のコミュニティ交通の方針が決まった。今日は、実証運行としてこの計画を、協議していくことになる。

2. 報告案件

（1）コミュニティ交通の方向性に関する地域への説明【資料1】

委員）実証運行計画の方の内容を議論した後に、資料1に不足しているところがあれば修正したほうが良いのでは。

⇒事務局）口頭でご説明することを考えていきたい。スペースがあれば検討する。

3. 協議案件

（1）AⅠを活用したデマンド交通による実証運行計画【資料2】

委員）運営事業者と運行事業者はどのように決定するのか。

⇒事務局）プロポーザルで決定していく。

委員）予算に見合う効果があがっているかどうか、検証する必要がある。

⇒事務局）市が負担してでもやっていかないといけないこともある。また、バスの利用だけでなく、他の施策と連携して効果を高めていきたいというふうに考えている。

委員）利用者へのアンケート調査では、「デマンドバスが運行する前の交通手段」を問う設問があるといいと思う。

⇒事務局）検討する。

会長）停留所を決める際に地域住民が協議したり、停留所を置く事業者が協賛金を出すような仕組み。

だから、行政だけでやっているわけではなくて、住民の方や事業者の方々と一緒に作り上げていく必要があると思う。まずは、1年間の実証ということをお願いしたい。

会長）当該資料のような方向性で進んでいくということについてお諮りする。

◆採決 ※挙手による採決の結果、全員賛成で承認された。